

MAILBOX

J R 東日本労働組合
水戸地方本部
発行者 / 根本 龍太郎
編集者 / 教 宣 部

一人ひとりの力を大きな団結へ 新しいJR労働運動をつくりだそう!



18新春団結旗開きを開催!

1月19日(金)、水戸エクセルのエクセルホールにおいて「2018年水戸地本新春団結旗開き」が開催された。45名参加の下、18新年に向けた戦いを参加者全体で確認し、新年のスタートを祝った。

18年新春団結旗開きは郡司書記長の開会あいさつでは「JR発足30年が経過した。新幹線の台車亀裂事故、京浜東北線架線切断があり、一歩間違えれば大惨事に繋がる事故が発生した。利益優先で安全を軽視した企業の責任は重大であり、チェック機能の役割を果たす労働組合の存在が問われている。安全な鉄道や働きやすい職場環境を作り出すためにも運動を進めていかなければならない。会社の業績は社員の努力によ

り、一昨年を大きく上回ったにも関わらず年末手当の回答は、要求とはかけ離れた結果であった。18春闘では満額獲得に向けた取組みをしていかなければならない。そして、旗開きとは組合員一人ひとりが当面の課題に向け運動を進めていく意志統一の場であり、JR労働運動の一元化、大同団結を目指していくため頑張っていく」と力強い開会のあいさつとなった。

続いて主催者を代表し根本地本委員長が、「震災で被災した際、世話になった当時本部副委員長だった鈴木仁さんが18日に亡くなられたご冥福を祈る。と冒頭おしらせがあった。

震災から7年が経過しようとしている。放射能の問題を抱えている地区の組合員への激励、常磐線の開通問題、安倍政権の暴走に歯止めをかけるためにも、民進党、社民党を含む野党への叱咤激励、JR東日本における労働運動の大同団結と一元化を目指し、組織の強化拡大をしなければならぬ。組織拡大や2018春闘など、私たちが取り組む課題は山積している。地方本部が先頭に立ち奮闘し、責任を持って邁進する決意である」と、あいさつした。



《委員長挨拶

今年の3月11日で大震災から7年が経過しようとしている。

序々に復興は進んでいるが、原発事故で出た放射性物質を含んだゴミ等の仮置き場は、既に飽和状態であり、除染廃棄物は今も高く積まれている。未だに、中間貯蔵施設が完成しないし、なかなか進んでいない。また最近あまり報道されていない汚染水問題も解決していない。一日も早い復興を願う。

10月21日に竜田・富岡間が開通した。大変喜ばしいことではあるが、未だに帰宅困難区域がある事を忘れてはいけない。常磐線全線開通は、皆が願うものであり開通に向けては、労使の垣根を越えて取り組まなければならぬ。地本としては、安全が担保されない限り開通は認められない。水戸支社社員とりわけ、いわき・原ノ町地区の社員から、疑問の声が職場から出ている。お客様・社員が安心して利用し、働くことが出来る環境にする為に会社に申し入れを提出し交渉をしてきた。他地本では組織拡大があった。心より敬意を表し歓迎する。水戸地本も組合員も努力しているが、結果が出ていない。若い社員に選択される組織になれるようもう一歩踏み出した運動をしていこう。

「JR発足30年 あらゆる労働条件・労働環境の総点検行動」が100%達成が出来た。組合員の皆様に御礼を申し上げる。問題点を会社に申し入れをし、交渉していく。

要旨

政治では、昨年に行われた第48回衆議院議員選挙では、民進党が分裂し惨敗した。もう一度野党を立て直し国民の声が届く政治に取り戻そう。

JR東日本の第2四半期決算では、単体・連結ともに増収増益。営業収益は六期連続の増収かつ第2四半期決算としては過去最高。また、単体は経常利益及び四半期純利益が過去最高。連結では全ての利益が過去最高であったが、年末手当の回答は要求とかけ離れた結果であった。今春闘は、昨年同様社員一律6,000円引上げ、定期昇給4係数、エルダー賃金の引上げ、GSの賃金引上げを要求していく。お客様は無論のこと、全てのJR関係労働者の死亡事故ゼロ・重大労災事故ゼロの実現とそこに働く労働者にふさわしい賃上げを求めて2018春闘を闘い、「賃上げしてくれから賃上げを勝ち取るぞ!」へ本部と共に変革を目指す。

4月から新しくエルダー社員の会社における業務範囲の拡大が実施される。現場では、いろいろな情報がでていますが、きちんとした情報を皆さんに送りたいと考えています。最後に私達は、統一の想いや理念を忘れずに、より高い目標へと前進しなければなりません。JR労働運動の大同団結・一元化を目指し、強く大きい組織へと前進することだと思おう。新たな一歩を踏み出す年にする事を約束し、新年の挨拶とします。



連合茨城内山会長

引き続き、来賓の方々のあいさつでは、始めに、連合茨城内山会長からは、連合運動の中で地方組織の重要性が高まっている。地域に根差した顔の見える運動を展開しよう、また、地域協議会の運動の一層の進化をさせ、地域作り、暮らしを守る活動を進めていくためにこれからも活動していく。来年は連合茨城30周年を迎える。今年に来年30ステップアップの年にしていきたい。今年に労働法制の見直し議論もされる。また、経済闘争では春季生活闘争が始まる。衆議院選では野党のバラバラ感があり、まとまり感がないが、働く者として、私たちの声がしつかり届くように政治活動を進めていく。今年暮れには県議選、来年は参議院選がある。しつかりと準備していくとあいさつを頂



堀江水戸市議会議員

続いて、公務のため出席できなかった郡司参議院副議長秘書からは、メッセー



佐藤中央執行委員長

最後に、佐藤中央執行委員長からは、エルダー組合員も現職と繋がりを持ち、組織運営に参加してもらいたい。安全問題では原発事故の余波について鉄道開通だけがマスクミに踊るが、そこで働く労働者、お客さまの安全が最優先して考えなければならぬ。重大死亡事故がもたらす影響は大変重い事であるかを労働組合としても考えなければいけない。現場で安全をチェックし防止に向け、責務としてユニオンの目で、言葉で情報を発信していく必要がある。2018春闘についてはベア6,000円を提起した。官制春闘と合わせているが、労働組合として、私たちが春闘を勝ち取る。労使による賃金交渉が春闘であることを、世の中に示さなければならぬ。要求を全組合員で作りに上げたいという春闘にしていこう

来賓の方々

と、あいさつを頂いた。その後、前執行委員の斉藤さんの『乾杯』の音頭で懇親会に入った。二部のアトラクションは栗原副執行委員長・坂本執行委員の司会で始まり、景品も分会賞や各賞、地方本部から盛り沢山用意された。各分会代表者からも賞品を当選者に渡した後、今後の運動を進めるにあたっての決意も表明された。抽選時は坂本執行委員の饒舌な進行により、抽選ごとに歓声とため息が聞かれ、名残惜しいなか、最後に根本委員長

- ◇連合茨城会長 内山 裕
◇参議院副議長 郡司 彰
◇中央ろうきん 玉造 順一
◇中央ろうきん 菊本 恭市
◇鉄道退職者の会 湯澤 忠芳
◇交通共済東日本事業本部 真島 幸太
◇中央本部 佐藤 光雄
◇中央本部 生田 俊勝
◇参議院副議長 郡司 彰
◇東日本ユニオン各地方本部 (敬称略)

平成29年初任給の概況

Table with 2 main columns: '学歴別にみた初任給 (千円)' and '企業規模別にみた初任給 (千円)'. It contains data for various educational backgrounds and company sizes.

初任給：基本給のほか諸手当含む(超勤、通勤手当は含まない)

第5回拡大地方委員会 3月7日(水) 13時~ 日立ビッグセンター5F会議室